

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	脊椎動物の季節適応機構の解明とその応用
研究代表者	吉村 崇 (名古屋大学・大学院生命農学研究科・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、季節繁殖を示すメダカをモデルに用い、集団遺伝学、ゲノム編集、構造生物学、エピゲノム解析などの手法を活用して、季節適応の臨界日長や臨界温度の遺伝的背景を解明しようとするものである。さらに、メダカにみられる不安様行動などの冬季うつ様状態を改善する創薬に取り組み、哺乳類への波及を目指している。</p> <p>応募者のこれまでの研究に裏付けられた提案であり、モデル動物として我が国独自のメダカバイオリソースが生かされており、動物に普遍的な季節適応戦略の解明について、オリジナリティの高い研究成果が期待できる。準備状況や実験計画も詳細で、研究遂行能力、研究環境ともに実現可能性が高いと認められる。</p>